

【所属名：能生事務所 有線テレビ係】

【会議名：令和4年度第3回放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会】

会 議 録

作成日 令和5年3月17日

日	令和5年3月15日（水）	時間	13：30～14：48	場所	能生生涯学習センター 2階 第1会議室
件名	議題1 報告事項（公開） (1) 光電変換装置の更新について (2) アンケート結果について 議題2 審議事項（公開） ・令和5年度事業計画と番組編成計画について ・放送番組審議 新春特番「新春お国自慢大新年会2023」について				
出席者	【出席者】 5名 放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会委員 猪又委員、齋藤委員、中村委員、真見委員、吉田委員 【事務局】 6名 総務部 渡辺部長 総務課 大平係長 能生事務所 高野事務所長、武藤係長、池亀主査、磯谷主査				
	傍聴者定員		— 人	傍聴者数	— 人

会議要旨

1	開会（13：30） 高野事務所長
2	総務部長あいさつ 渡辺総務部長
3	会長あいさつ 吉田会長
4	議事 報告事項 ・光電変換装置の更新について 【事務局】資料により説明 【出席者】意見等 委 員）資料に載っていない地区があるが、そこはもう終了したということか。 事務局）資料は交換が終わった地区を掲載している。掲載がない地区は終わっていない地区であり、今後、計画的に随時更新して行く予定。 委 員）最近は、能生地区の市街地で障害が多く見受けられている印象で、そういうところを優先して交換してはどうか。 事務局）おっしゃる通り今般、能生地区の市街地で停電があり、この影響で光電変換装置が故障しご迷惑をお掛けした。電力経路の関係か、これまでは磯部地区から小泊地区での停電が多く、光電変換装置の故障が多発する傾向にあることから、昨年度と今年度は磯部地区、

来年度は小泊地区での更新を計画した。

委員) 高齢化が進み、特に高齢者はテレビが映らないと不安を感じる。年間の更新台数が決まっているようだが、可能な限り更新台数を増やして不具合の解消、加入者の不安解消に努めていただきたい。

事務局) 限られた財源の中ではあるが、今後も計画的に更新して行きたい。

事務局) テレビが映らないことへの不安は、察するに余りある。万が一、不具合が発生した場合は、能生事務所へご連絡いただければ、早急に対応し不安解消に努めていきたい。

委員) 光電変換装置の不具合は、電源コンセントの抜き差しで解消する場合があると聞いている。そういった対応策を高齢者にもわかりやすく説明することで、お互いの負担を軽減できると考える。

・アンケート結果について

【事務局】資料により説明

【出席者】意見等

委員) 調査依頼した1,000通の抽出について、地区ごとの内訳を教えてください。

事務局) 集計して後日お示ししたい。

委員) アンケート結果を見ると、能生地域における有線テレビの役割、ウェイトは非常に大きいことが改めてわかる。地域の活性化のためにも、今後も活用・継続して行ってほしい。人口減少対策の起爆剤として期待している。

アンケート結果から、大勢の方が有線テレビをご覧になっていることがわかる。地域に密着しているものと改めて感じた。

この委員会も一丸となって、今後もより充実した施設になっていけるよう頑張っていきたいと思うので、行政の方もよろしく願います。

事務局) 委員がおっしゃった「地域に密着している」ことが大事だと思う。

人口は減っているが、有線テレビの番組を介して「我々も頑張ろう」という「地域力」が芽生え、イベント等を残していこうという気力につながるということが重要だと考える。

そういった意味でも、このあと審議いただく有線テレビの制作能力の向上というのが大事になってくると考える。

委員) 能生の地域としては、十分な施設、内容と考えるが、青海・糸魚川地域で注目すべき行事などがあつたり、行政における問題点、課題点などをピックアップしたりして、能生地域住民であろうとも「知る」ということが大事だと思う。

広報で周知してもそれだけで十分とは言えず、「テレビだから見た」という方もいるだろうから、広範囲のニュースソースを捉えていく必要があると考える。

ただ、マンパワーの問題もあると思うので、難しいと言われればそれまでだが、お祭りにしても「能生白山神春季大祭」が特化されているが、青海の「竹のからかい」や糸魚川の「けんかまつり」、根知の「おててこ舞」など、探せば色々あると思うので、そういったものを折に触れて季節のニュースの中に入れていただければ、能生地域の人たちも固定概念だけでなく、視野を広げて他の地区も含めた知識や見分を深められるのではないかと。限られた人数の中で難しいだろうが、例えば「ニューストピックス」の時間を縮小・省力化して、他の取材に時間を割く工夫も要望する。

事務局) おっしゃるように、他の地域のイベントも紹介できるのが一番理想と考えている。

ご存知のとおり、能生地域は年間を通してたくさんのイベントが行われており、繁忙期には取材してから放送するまでに1か月近くのタイムラグが生じ、季節感にズレが出ることもある。この現状の中でさらに取材範囲を広げるとなると、委員がおっしゃるように、放送時間の問題等もあるので、そうした中で「地元密着」の番組をどう作りこんでいくか、今後の課題と捉えている。

委員) 能生地域では有線テレビで「議会放送」があり興味深く視聴している。糸魚川や青海地域には、この放送がないが不満は出ていないか。

事務局) 直接そういった不満は耳に入っていない。議会に関しては、インターネットで生中継しているため、関心のある方はスマートフォンなどの端末でどこでも手軽に視聴できるようになっている。

委員) ちまたの意見としては、私の周りでも「能生はテレビで議会放送が見られて羨ましい」と言われる。

5 審議事項

・令和5年度事業計画と番組編成計画について

【事務局】資料により説明

【出席者】意見等

委員) 番組作りに関する提案であるが、昨今大きな問題となっている「還付金詐欺」や「強盗事件」などの注意喚起をもっとすべきと考える。

都会に比べて、防犯意識が薄いのが現状であり、実際のところ我が家も1月に不審な人物の訪問を受けた。近所でも同じことがあったと聞いている。

現在、文字テロップ放送で「還付金詐欺」の注意喚起をしているが、同様に「施錠」の呼び掛けなど防犯意識の高揚が必要だと考えるので検討いただきたい。

事務局) 「交通安全運動」期間中には、糸魚川警察署署員からニューストピックスの中で注意喚起してもらっている。警察署は広報に関して積極的であり、連携して制作した動画はニューストピックスだけでなく、糸魚川駅のデジタルサイネージや市のホームページでも活用されている。今後は、交通安全だけでなく防犯についても、警察・市役所の関係課と連携して取り組みたい。

事務局) これだけテレビの視聴率がいいのだから、有効に活用してもらいたい。

事務局) 手始めに、文字テロップ放送が一番早く対応できると思う。

事務局) テレビでの注意喚起も重要だが、もし不審に思うこと、不安に思うことがあればすぐに警察や市役所の環境生活課へ連絡していただきたいことを申し添えさせていただく。

・新春特番「新春お国自慢大新年会 2023」について

【事務局】資料により説明

【出席者】意見等

委員) 3県ともほとんど食べ物の紹介だったが、企画として「グルメ特集」という決まり事だったのか。

事務局) グルメで統一したわけではなく、それぞれの地域の自慢を紹介する番組で素材は局に一任

されている。

委員) そうであれば、グルメもいいが、自慢できる施設や人物などこの地域ならではのものを紹介できれば、個性が出て地域の魅力が伝わったのではないか。

能生と言えば「ベニズワイガニ」は言わずと知れたものであるもので、違った視点から人間味のあるものの紹介でもよかったのではないかという個人的な感想。

例えば、富山・長野・新潟の合同企画番組ということであるが、海洋高校には富山県や長野県をはじめとする県外からの入学者が3分の1を占めている。海洋高校に関連したことでもいいと思う。

事務局) 今回で15年続いている番組である。過去には、海洋高校関連で能水商店の商品、相撲部の開発商品なども紹介している。

委員) 海洋高校に限らないが、グルメだけにとらわれず人物紹介など、違った目線で企画してみるのも糸魚川の魅力紹介につながると考える。

委員) ベニズワイガニを紹介してもらったことにより、実際に「番組を見た」という県外からのお客さんもいた。ベニズワイガニと一緒に、「カニ・コーラ」を買ったというお客さんもいて、経済効果はあったと考える。

糸魚川市には「ベニズワイガニ」だけを目的に訪れる観光客も大勢いる。それだけ、ベニズワイガニに魅力があるということだと思う。

本来廃棄するカニの殻を使ったカニ・コーラを紹介したことにより、資源保護についても考えながら家族で番組を視聴した。

委員) 今回で15年続く番組ということだが、今年初めて正月にリアルタイムで視聴していた。「信越トライウオーク」は時々見ていたが、3県合同企画の新春番組を放送していたことを初めて知り、その充実した内容に感心した。

旅行の目的地選びでは、まず「美味しい食べ物」が第一条件であり、非常に参考になった。気軽に行ける隣県なので、今後のためにメモを取りながら視聴した。これからも、こういった情報番組を望む。

構成的には、全局とも熱意が伝わり、お正月番組らしい衣装や演出もよかったと思う。

委員) 制作の「連盟信越支部」というのは、プロの技術者か。

事務局) 日本ケーブルテレビ連盟の中の「信越支部」は、新潟県と長野県のほぼ全てのケーブルテレビ局が加盟している組織で、この支部の中の「放送委員会」に所属する各局スタッフが企画・制作している番組である。

富山県は信越支部ではないが、隣県ということもあり、より充実した番組作りのために富山県の情報提供の部分と放映のみ参加いただいている局がある。

委員) 長野県の参加局数が突出しているが、それだけ熱心ということか。

事務局) 長野県は地形柄、テレビ電波の受信状況が良くないため、ケーブルテレビ局の絶対数が多い。

委員) 今回は3会場での収録だったが、これは毎年持ち回りなのか。

事務局) 去年までは、長野県飯山市のiねっと飯山をメイン会場とし、日程や距離の問題で行けない局や、密を避ける目的でズームによる参加となっていた。

感染症がやや落ち着いてきたことから、今回は地域ごとに3会場に分散して収録した。

3会場での分散は、今回初めての試みだった。

委員)収録はいつ行ったのか。

事務局)編集に時間を要するため、今回は11月11日に収録を行った。

委員)11月に正月らしい雰囲気を出す番組作りとなると、制作の方も大変だったことと察する。収録の時期的な関係からか道の駅の紹介が続き、「大新年会」というタイトルに若干の違和感を感じた。

委員)テロップ関連は見やすかったという印象。

委員)特に方言を紹介する場面では、文字テロップが効果的だった。

委員)長野市の作詞作曲をする方の紹介コーナーが印象に残った。

事務局)人物をターゲットにした内容で感動した。地域密着型のケーブルテレビならではの内容だったと、新鮮に感じた。糸魚川市にも、輝いている方が大勢おられると思う。

委員)一句考えてきた。「ケーブルテレビ 行事を追わず 人を追う」。

隠れた人材の発掘に努めてもらいたい。

事務局)新春番組については15年と長く続いていることから、最近は素材選びに悩んでいる。

委員の皆様からも、輝いている人や物の情報提供をお願いしたい。

事務局)これまで紹介したものは、ベニズワイガニ、ヒスイ、ブラック焼きそば、アンコウ、ゲンギョ、ヒスイカクテル、最後の一滴、能水商店の各種商品、ごつつあんカレー、地鶏、さざえファーム、蓮華温泉などを紹介してきた。

委員の皆様からぜひ、情報提供をお願いしたい。

委員)アンケートの特集番組の中にもあった「鉾が岳山頂小屋の荷上げ」の番組が、非常に懐かしく思い出もあって何度も視聴したが、ああいった昔の映像があればそれをノンフィクションとして、県内外に紹介しても面白いのではないか。

委員)特集番組「鉾が岳山頂小屋の荷上げ」は、本当によかった。

糸魚川市の紹介として食べ物が悪いというわけではないが、この番組のようなドキュメンタリー的な番組もぜひ期待したい。私たちも協力していきたい。

委員)2時間の番組尺がとても長く感じた。

委員)参加局数を考えれば、2時間もやむを得ないのではないか。

事務局)なるべく多くの局の情報を放送したい、より詳しくお伝えしたいということで、1局あたりの持ち時間は6分の設定であり、新春特番2時間はやむを得ないと考えている。

6 その他

【出席者】特になし

【事務局】

事務局) 「糸魚川市有線テレビジョン放送番組審議会規則」により、本委員の任期は3月31日をもって一旦、満了となる。この間、放送番組や施設運営について貴重なご意見やご協力をいただいたことに、厚くお礼申し上げます。

今後も様々なお立場から、放送番組や施設運営についてのご意見などを係へご連絡いただけるようお願いする。

7 閉会 (14:48)